

放射線安全フォーラム
第66回放射線防護研究会
「シミュレーション技術を利用して考える感染症の制御」

開催趣旨

COVID-19 の流行のために第64回の放射線防護研究会は中止せざるを得なくなりました。この感染症への対応のために関係者の多大な努力が捧げられ続けています。

このような感染症に対して、より効果的に対策を講じるにはどうするのがよいでしょうか？ 実験的に検証できている科学的な根拠があればそれを活用すればよいでしょう。しかし、進行中の事態では住民のリスクを取って貢献頂く社会実験などが間に合いません。

このためにシミュレーション技術を活用すればよいのではないかとあなたも思っておられることでしょう。候補となる対策を比較するためにエージェント・ベース・シミュレーションが用いた迫真の研修がなされ、今回の事態を事前に予測していた例があります。

一方、放射線の防護でもシミュレーションが広く活用されています。一般財団高度情報科学技術研究機構の仁井田浩二博士は放射線防護業界でも広く使われている PHITS 開発のリーダーですが、COVID-19 の流行に対しても状況を分析するためのシミュレーションをなさっておられます。また、市川准教授は、さまざまな事象を突き詰めて、社会シミュレーションを用いていろいろなシナリオを可視化して提示するエージェント・ベース・シミュレーションの研究に取り組んでおられます。

記

1. 日時、場所

日 時： 2020年12月19日(土)13:30~17:00

場 所： **WEB(オンライン)での開催とします。インターネットへの接続が必要です。**
快適に参加するために Download の速度は 20 Mbps 以上 をお勧めします。

2. プログラム

司 会： 山口 一郎 放射線安全フォーラム理事（国立保健医療科学院）

講 演： 仁井田浩二「モンテカルロシミュレーション PHITS による新型コロナ感染拡大の解析」
一般財団高度情報科学技術研究機構

市川 学「エージェント・ベースのアプローチによる感染症蔓延モデルの実現と活用可能性」
芝浦工業大学

総合討論：お二人の先生を交えて、討論します。

前回同様、総合討論後ブレイクアウトセッションを設けて、さらに意見交換できる場を設けます。

また、終了後は有志の希望者による WEB 懇親会も予定しております。

(飲み物など皆様で準備ください。1時間程度を予定)。皆様の参加お待ちしております。

※WEB 開催になりますが、本研究会での録画並びに録音等については一切禁止いたします。

3. 参加費：(放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般：**2,000円**

学 生：無料(HP 申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください)

12月11日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み：ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。定員は先着100名様を予定しております。参加費は事前振り込みをお願いいたします。

参加を希望される方は必ず受付フォームよりフルネームをご記入の上、参加申込みをお願いいたします。

申込期日後、ZOOM 招待を申請(登録)されたメールアドレスに発信いたします。

受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日：2020年12月11日(金)17:00

6. 問 合 せ： mail@rsf.or.jp